

【パソコンの仕様を簡単に表示】

自分が使っているパソコンの基本ソフト(OS)のバージョンや、CPU (中央演算処理装置) の種類、メインメモリの容量を表示する方法を説明します。ウィンドウズには、これらのパソコンの仕様をすぐに表示できる機能があります。

Windows Vista

手順はまず「スタート鈕」を押し、現れた画面で「コンピュータ」を右クリック、現れたメニューで、「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。ウィンドウズの種類や「Service Pack 1」などサービスパックへの対応状況、CPU の種類と動作周波数、メインメモリーの容量などが確認できます。

ただし、実際に搭載しているメモリーの容量が1ギガバイトあるのに、「0.98GB」などと少なく表示されるケースがあります。これは、メインメモリーの一部を画像表示用のビデオメモリーとして使っている場合などに、その分が差し引かれて表示されるためです。

【ワード文章を使せん風に】

ワードで新しい文章を作るとき、普通は真っ白い文書画面が現れます。しかし、便箋のように線が引いてあったほうが、文章を書きやすいという人も多いでしょう。そこで「グリッド線」という機能を使い、便箋のような雰囲気のある画面にしてみます。

Windows Vista

手順は、「表示」⇒「グリッド線」にチェックを入れると、今開いている文書画面に線が表示されます。

ただ、グリッド線とは文字や図形、画像の位置を揃えやすくするために便宜的に表示させるもの。印刷はされないので注意してください

Word 2003

ワード2003では、「ファイル」⇒「ページ設定」とクリックして、現れた画面で「文字数と行数」⇒「グリッド線」とクリックします。次の画面で「グリッド線を表示する」にチェックを付けて「OK」をクリックすれば、今開いている文書画面に線が表示されます。

